

未来の学校 みんなで創ろう。

東京学芸大学
教育インキュベーションセンター長 教授
金子嘉宏

所属：東京学芸大学教育インキュベーションセンター長 教授
先端教育人材育成推進機構 教育者研修プラットフォーム開発ユニット ユニット長

専門分野：社会心理学、教育支援協働学

研究テーマ：遊びと学び・学びに関する社会システム・STEAM

プロフィール：東京学芸大学教育インキュベーションセンター長 教授。専門分野は社会心理学、教育支援協働学。一般社団法人東京学芸大Explayground推進機構事務局長、一般社団法人STEAM Japan理事、一般社団法人教育支援人材認証協会理事、NPO法人東京学芸大こども未来研究所理事、日本教育支援協働学会理事を兼任。文部科学省 学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ委員、小金井市子ども・子育て会議 議長。こども、教育関連の企業に勤めながら、「遊びと学び」についての産学共同研究を数多く実施。現職にて、新しい学びの場の創造プロジェクト「Explayground」、学校の変革プロジェクト「未来の学校みんなで創ろう。PROJECT」等の公教育のシステム変革の実践事業やSTEAM教育の推進等に取り組んでいる。

プロフィールサイト：

https://www.prof-ai.com/profiles/reclB1KQgpt93MSLu?fbclid=IwAR03p_98wFRLT-6Vk7Z_Bygj1z9I0BCGb6wPd1GtdhdDY8EW-pObFUIn6c8



10年後の学校を3年後には実装する

「学び」そのものだけでなく、学校というシステムを変えていく

外部からでなく、産官学民がワンチームとなって、内部から変えていく

教育と学習
(内容と方法)

人
(教育者と学習者)

環境
(ソフトと設備)

上記を規定する制度等

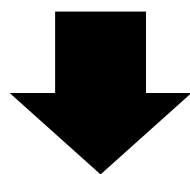
学校教育は
全国の学校において
全員に対して
公平に行われなければならない



現状の「人」と「環境」で実装可能な教育しかできない

①先導的な教育の提案

②「①」を公立学校において実現できる「人」と「環境」とそれを規定している「制度」の整備のモデルの提案



各チームで上記の2つの方向性の成果物を
今年度中に形にしていく

「未来の学校 みんなで作ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

研究者と普及者と実践者を一つの共創チームに

- 研究、普及、実践を乖離させずに、一つのチームをつくって、実践的に研究開発を進める。
- 参加に関して金銭発生させず、参加してもらう(人的ソリューションの提供)こと優先する。
- 附属学校で開発したソリューションを公立学校に普及する
というやり方ではなく、公立学校と同時多発的に実践研究を行う。



○大企業・中小企業・スタートアップ・非営利等、多様な30以上の法人が参加

○岩手県山田町教育委員会・岡山県津山市教育委員会・福島県矢祭町教育委員会・宮崎県延岡市の4市町村が参加

○客員准教授4名、共同研究員2名の称号付与



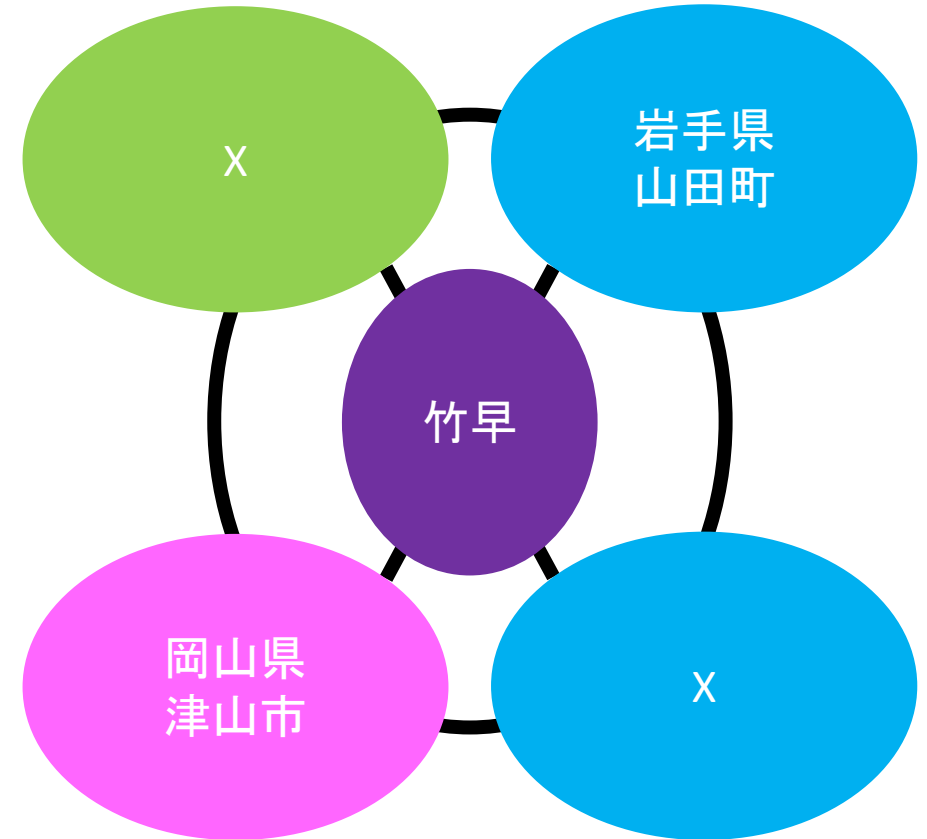
未来の学校
みんなで作ろう。
PROJECT

複数地域同時進行 → 全国への普及

竹早でモデルを創り、
他地域に普及していくのではなく、

「未来の学校」を実践的に研究開発しながら、
「学校を変える」プロセスのモデルを、
公立学校と協働で構築していく。

公立学校からもプロジェクトがスタートさせる



「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

大人も

好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？

「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校が、

「答え」より「好き」を見つけられる場所であってほしいと考えています。

広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。

そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、

明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、

社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。

「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

成果主導型でなく、「好き」駆動型

○明確な成果目標や計画を立てるPDCAサイクルでなく、参加者各人の課題意識を明らかにしながら試行錯誤を繰り返すOODAループで研究開発を進める。

○明確な成果目標でなくプロジェクト全体のビジョンを共有する。

○予算を計上せず、必要な時に必要なリソースや予算を参加者自身が獲得する。

○附属学校でのみ実装可能な最先端のソリューションではなく、公教育への普及可能性を担保して研究開発を進める。



○多様な共創プロジェクトの発生

教室環境・探究的な学びと評価・学校図書館・基礎学力・学校の居心地・キャリア教育・VR/AR・ゲーミフィケーション・教員の魅力

○企業からの多様なリソース提供

5Gレベルのネット環境整備・教室へのICT機器の導入・VRゴーグル・電子書籍システム・AIドリル教材・ゲーム教材等

○学校内共創空間整備

- NTT東日本 : 小中、各1教室への個別のネットの引き込みとWi-Fi6の導入によるネット環境整備
- PICOジャパン : VRヘッドマウントディスプレイPICO20台
- 内田洋行 : 小学校1室へのICT機器の導入の基盤となる仕組みの導入
- SONY : 大型ディスプレイレンタル ・ 学校内ラーニングコモンズ、制作スタジオの機材レンタル
- NEC : 教育データのAI分析実施
- FIVE for : VR体験会の実施
- ポプラ社 : 電子書籍システムの導入
- AFLO : 写真データアーカイブの活用
- NTT西日本 : VR教材の放映システムの活用
- モノグサ株式会社 : AIドリルアプリの活用
- 博報堂 : ヴィジョン作成 ・ ロゴ作成
- SOLIZE株式会社 : VRを活用した理科教材の開発

先生方とチームになってくれる人材を出してくださることが一番のリソースの提供



中学生と教員と
コクヨさんでレイ
アウトや家具の選
定をしました。

PC室を共創空間にリニューアルしました！



表題

未来の学校プロジェクト 学校と企業の協働による “SUGOI部屋” 協創と活用の取り組み



“SUGOI部屋”一番の特長は壁を埋めつくす巨大スクリーン。圧倒的な情報量を活かしたオンライン授業では、農家さんとの交流を通してフードロス問題に迫り、人権が脅かされている子どもたちが通うタイの学校との交流では経済問題に迫りました。また、GIGAスクール端末を活用し、子どもたちの考えを画面いっぱいに表示して共有する事も可能。最先端の環境を使いながら、投影装置や音響設備、使用するソフト等の使い勝手を企業にフィードバックし、随時アップデートする事で、最先端かつ使いやすい環境での授業提案が続けられています。



情報共有ソフトの活用

情報活用のための“最先端”かつ“使いやすい環境”をつくる 未来の教室環境&普及可能なパッケージを目指す

(ア) **社会との共創**

学校の共創空間化のモデルの開発と普及

(イ) **個別最適化**

誰一人取り残すことなく皆で支える学びのモデルの開発と普及

(ウ) **教育のDX**

学校と教育のDXのモデルと普及

「未来の学校 みんなで創ろう。Project」の仕組みに参加するチーム拡充
(教育委員会・現場教員・大学・企業など法人・保護者・卒業生)

【第2期のチーム構成】

	テーマ	企業(仮)	他地域
社会共創	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内共創空間のモデル開発 ○学校内でサードパーソンとの共創のモデル開発 	<p>【共創空間】コクヨ株式会社・株式会社カモマン・株式会社出島プランニング・株式会社博報堂・株式会社ジョルテ・Mistletoe Japan合同会社・ソニーマーケティング・一般社団法人コペルニク・ジャパン</p> <p>【キャリア教育】リクルート・NPO法人xTReeE</p> <p>【居心地】ジブラルタ生命保険株式会社・NECネッツエスアイ・凸版印刷株式会社</p>	<p>宮崎県延岡市 福島県矢祭町 岡山県津山市 岩手県山田町</p>
個別最適化	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育における、誰一人取り残すことのない学びを保証する学校教育 ○上記を可能にする社会システムのモデル開発 	<p>【誰一人取り残さない】学研教育みらい・授業研究グローバルサービス・認定特定非営利活動法人Teach For Japan</p> <p>【ゲーミフィケーション】NPO法人 アクセプションズ・株式会社FUNDARD・日本文教出版株式会社</p>	<p>岡山県津山市 岩手県山田町</p>
教育のDX	<ul style="list-style-type: none"> ○GAGAスクール時代の学校空間のモデル開発 ○GAGAスクール時代のICTの教育への導入 ○探究的な学びとEポートフォリオ ○学習成果のデジタルアーカイブ ○データ駆動型の評価のモデル開発 ○メタバース道德 	<p>【教室空間】株式会社内田洋行・東日本電信電話株式会社・ソニーマーケティング・エプソン販売</p> <p>【VR/AR】 SOLIZE株式会社・Pico Technology Japan株式会社・株式会社ナディア</p> <p>【デジタルアーカイブ・ポートフォリオ】株式会社ポプラ社・株式会社アフロ</p> <p>【データ駆動】株式会社JMC・株式会社カナメプロジェクト</p> <p>【メタバース道德】ソライズ</p>	<p>岡山県津山市 岩手県山田町</p>

舞台 東京学芸大学附属竹早幼稚園舎・小学校・中学校
岩手県山田町・岡山県津山市・福島県矢祭町・宮崎県延岡市

チーム 一般社団法人あそび庁 ・ 株式会社アフロ ・ 株式会社内田洋行 ・ NECネットエスアイ株式会社 ・ 株式会社NDH ・ エプソン販売株式会社 ・ 株式会社カモマン ・ NPO法人xTReeE ・ ケニス株式会社 ・ コクヨ株式会社 ・ 一般社団法人コペルニク・ジャパン ・ 株式会社JMC ・ 株式会社JVCケンウッド ・ ジブラルタ生命保険株式会社 ・ 授業研究グローバルサービス ・ 株式会社ジオルテ ・ 株式会社SPLYZA ・ ソニーマーケティング株式会社 ・ SOLIZE株式会社 ・ 認定特定非営利活動法人Teach For Japan ・ 株式会社出島プランニング ・ 凸版印刷株式会社 ・ 株式会社ナディア ・ 日本文教出版株式会社 ・ 株式会社博報堂 ・ Pico Technology Japan株式会社 ・ 株式会社FUNDARD ・ 株式会社ポプラ社 ・ Mistletoe Japan合同会社 ・ 株式会社リクルート

岩手県山田町教育委員会・岡山県津山市教育委員会・福島県矢祭町教育委員会・宮崎県延岡市

第2期 未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT
が掲げている
3つのテーマについて

(ア) **社会との共創**

学校の共創空間化のモデルの開発と普及

(イ) **個別最適化**

誰一人取り残すことなく皆で支える学びのモデルの開発と普及

(ウ) **教育のDX**

学校と教育のDXのモデルと普及

「未来の学校 みんなで創ろう。Project」の仕組みに参加するチーム拡充
(教育委員会・現場教員・大学・企業など法人・保護者・卒業生)

個別最適化

「誰もが同じではないという当たり前」

[https://illusion-
forum.ilab.ntt.co.jp/rabbit-and-
duck/index.html](https://illusion-forum.ilab.ntt.co.jp/rabbit-and-duck/index.html)

[https://illusion-
forum.ilab.ntt.co.jp/life/index.html](https://illusion-forum.ilab.ntt.co.jp/life/index.html)

事実や現実に対した時
事実や現実の捉え方は
一人一人違う

という
当たり前を
再認識する

ある児童の悩み：計算は間違えないんだけど、時間がかかってテストが時間内に終わられない。

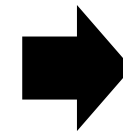
見取り：実際に児童が計算しているのを見してみる。

児童に自分がどう計算しているか説明させてみる。等

【問題】 $456 \div 6 = ?$

【児童生徒のアプローチ】

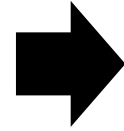
- ① $456 \div 6 = ?$
- ② $6 \times 5 = 30$ 45は30より大きいから、次
- ③ $6 \times 6 = 36$ 45は36より大きいから、次
- ④ $6 \times 7 = 42$ 45は42より大きいから、次
- ⑤ $6 \times 8 = 48$ 45は48より小さいから、
- ⑥ まず「7」だ！
- ⑦ 45から42をひいて3だから、36か
- ⑧ $6 \times 5 = 30$ 36は30より大きいから、次
- ⑨ $6 \times 6 = 36$ お、36はぴったりだから
- ⑩ 76だ！



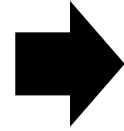
この児童の
この学習内容について
どのような指導を
したらいいのか？

= 指導の個別化

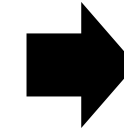
一斉に
与えられる
刺激



児童生徒
の個別の
認知

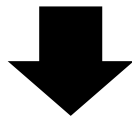


教員による
児童生徒
の個別の
認知の
見取り



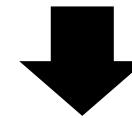
個別の
指導

事前に多様な指導方法を準備しておくことだけが指導の個別化ではなく、
(そもそもすべての個別に事前に対応することは困難では?)



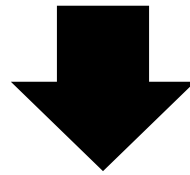
児童生徒の個別の理解を見取って、その児童生徒の理解に対応した指導を考えていくことも指導の個別化

事前に児童生徒の状況を見取りいくつかの指導方法、学習方法を準備しておくが、



常に、児童生徒の理解を見取り、変化させていく必要がある。

児童生徒の学習状況が見取れていることが
指導の個別化の前提

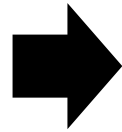


見取りによる
指導の個別化の為の指導計画の変更

おばあちゃんにレコードをもらった。

あなたならどうしますか？

おばあちゃんに
レコードを
もらった



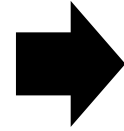
レコードプレイヤーって
つくれないかな？

- ◇レコードプレイヤーはどうしたら買えるかな？
- ◇どこにいけばレコード聞けるかな？
- ◇部屋のインテリアにいいかな？
- ◇オークションに出したらいくらで売れるかな？

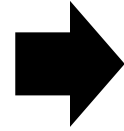
事実や現実に対した時
生まれてくる「問い」は
一人一人違う

という
当たり前を再認識する

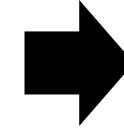
一斉に
与えられる
刺激



児童生徒
の個別の
問い



教員による
児童生徒の
個別の
問いの
見取り



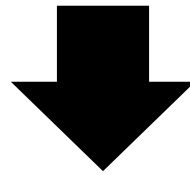
個別の
支援

決まった方法で、正解に向かって探究していくのでは
学習の個別化は達成されない。



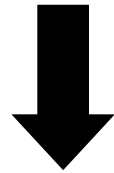
児童生徒一人一人の中に生まれた「問い」を
引き出して(言語化)、
その「問い」を探究、問題解決していくこと
(それを支援していくこと)
が、学習の個性化

児童生徒がどのような問いを持ったのか
が見取れていることが学習の個性化の前提



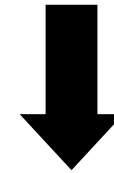
見取りによる
個別の問いに対する個別の環境設定等の支援

児童生徒の学習状況が見取れていることが
指導の個別化の前提



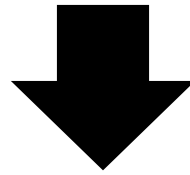
見取りによる
指導の個別化の為の指導計画の変更

児童生徒がどのような問いを持ったのか
が見取れていることが学習の個性化の前提



見取りによる
個別の問いに対する個別の環境設定等の支援

指導を個別化や学びの個性化を進めるため基盤は
子ども達の状況の見取り



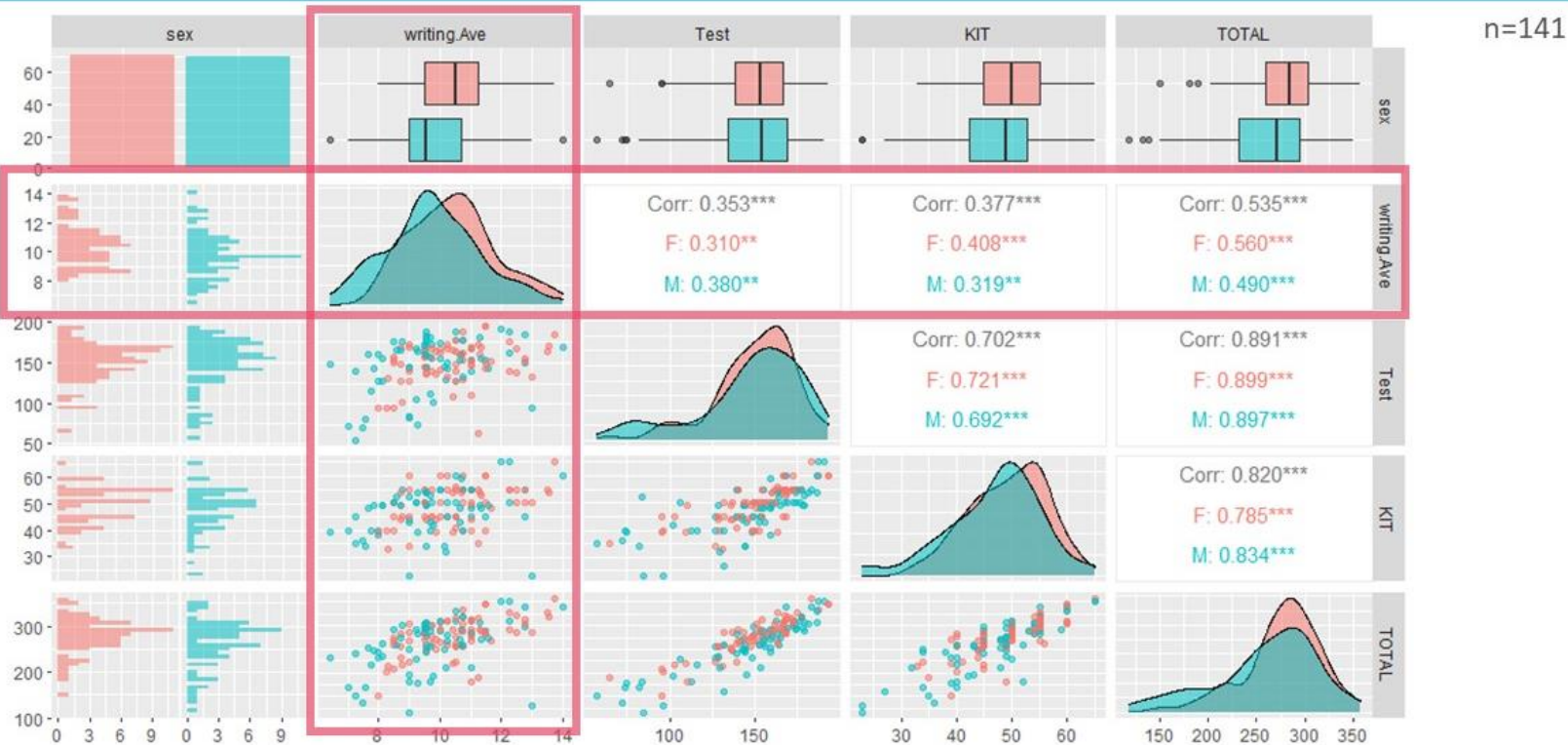
子ども達の状況の見取りのための
デジタルデータの収集とデータの分析

データ駆動型の個別最適化

中学2年生の社会の記述の評価点とテストの点数

記述の平均点（男女別）

※テストが0点の生徒2名
記述の点数10点は除外



記述の平均点は、他の項目に比べ相互相関が低く、情報量の多い指標といえる

記述の評価点とテストの点数に強い相関は見られず



テストはできるけど記述ができない児童生徒、記述はできるけどテストでは点が取れない児童生徒を特定



それぞれの児童生徒に対しての個別の指導が可能になる

クラス、学年単位の少量のデータでも外れ値に注目することでアラームの感知や個別の指導が可能になる。

平均点を指標にするのではなく、例えば7割を下回っている児童の生徒数を指標にする。

令和5年度 次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進 (最先端技術及び教育データ利活用に関する実証事業) 採択団体一覧

採択団体名	実証校	研究テーマ	活用する先端技術
国立大学法人 東京学芸大学 (情報基盤課)	東京学芸大学附属 竹早小学校、中学校	児童・生徒の記述に対する教員の総合的な評価を、生成AI技術を活用した分析・数値化によって支援するシステムの構築と検証	生成AI
国立大学法人 東京学芸大学 (附属学校課)	東京学芸大学附属 小金井小学校	カスタマイズ可能な汎用BIツールのダッシュボードを活用した学習者主体の端末活用の促進	汎用BIツール コミュニケーションツール RPAツール等
富士ソフト株式会社	小金井市立小学校、 中学校	教育メタバースによる不登校児童生徒の社会的自立支援効果の検証	教育メタバース(自動会話技術・行動の可視化技術)
学校法人玉川学園 (玉川大学)	玉川学園小学部、 中等部	「学びの活動」の定量的分析の教員フィードバックによる授業デザイン改善の試み	画像からの顔情報抽出と個人追跡の技術等
株式会社SPACE	鎌倉市立深沢中学校、 岩瀬中学校	学習特性アセスメントによる学習の個性化の実現と展開	AOS(Assessment Operation System)
株式会社VizionWiz	箕面市立中小学校	AIにより特別支援学級に在籍する児童の「授業時の状況・行動」の推定を実施し、当該児童への十全な支援・支援体制を実現する	AI推論モデル
一般社団法人 教育環境デザイン研究所	広島県安芸太田町立 加計中学校ほか(全 13校)	先端技術を活用した授業研究ネットワーク構築による若手教員の力量向上	学瞰システム、学譜システム、 アクティブ・ラーニング・ルーム等
熊本市	熊本市立本荘小学校、 芳野中学校	「フレンドリーオンライン」×「バーチャル空間」×「ダッシュボード」×「自律走行型ロボット」による不登校児童生徒支援の充実	バーチャル教室(メタバース空間)、不登校児童生徒支援ダッシュボード、自律走行型パーソナルロボット等



東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

6. 先端技術の導入、開発、実証について

- 生成系AIを現場の教員が活用によって、教育へのAI活用に対する示唆を得ることを目的としている。
- 本プロジェクトでは、OpenAI社が提供するAPIを利用した実証を行った。

本検証のテーマ

(A)記述問題の点数付けとコメントに関する検証

現場の教員が実際に用いた記述問題の回答にAIが観点に沿って評価し、その結果のヒアリング

(B)授業中の生徒同士の対話を用いた解析

授業中のグループ対話の発言内容を録音し書き起こしたデータを元に、対話の内容から非認知能力を見取ることの可能性の検討

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

6. 先端技術の導入、開発、実証について

(A)記述問題の点数付けとコメントに関する検証

データ準備	現場の教員が実際に用いた記述問題と生徒の回答、評価基準（ルーブリック）などを、教科ごとに収集。質問、回答、教員の付けた点数等をExcelにまとめ、プログラムで読み込める形にする。
プロンプト設計	評価基準を元に、AIが記述問題の点数付けとコメントをするプロンプトを検討。プロンプトはテンプレートのような形になっており、プログラムを用いて質問・回答のペアを自動で差し替える。これにより、質問ごとに数十～数百程度存在する回答1つ1つに対応するプロンプトを、自動生成している。
実験プログラム	質問・回答ペアが入っているExcelを読み込み、回答1件ずつ、プロンプトのテンプレートに差し込んだ内容をAPIに入力。すると、AIによる点数と、点数を付けた根拠のコメントなどが返ってくる。この結果をそれぞれ入力のExcelに追記することで、AIによる点数とコメントが自動で得られる。
結果の分析	教員がつけた点数とAIが付けた点数の分布の違い等、分析を行う
教員による結果確認	分析結果を教員に戻し、結果を吟味
ヒアリング	AIによる点数付けを体験したことから得られた気づきなどをヒアリング

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

6. 先端技術の導入、開発、実証について

(A) 記述問題の点数付けとコメントに関する検証

- ① 社会科(歴史/日本)の記述問題
- ② 社会科(公民)の記述問題
- ③ 国語科の記述問題
- ④ 理科の記述問題
- ⑤ 社会科(歴史/日本)の記述問題
- ⑥ 教育実習生、ベテラン教員、AIの点数付け比較
- ⑦ 社会科(歴史/世界)の記述問題
- ⑧ AIの点数付けとコメントを、ベテラン教員が確認した上で生徒に戻し、生徒は再度回答

AIによる支援ツールで分析

質問、生徒の回答、AIによる点数付け及びコメントの例

問：聖徳太子が目指す政治を行う上でどんな悩みを抱えているのか、そのお悩みの内容を詳しく述べてください。

生徒の回答	点数付け&評価コメント
<p>聖徳太子が行った政治は天皇中心のものであるため、豪族である蘇我氏の反発があるのではないかと、自分の蘇我氏との関係はどうなるのか等、自身も蘇我氏の血縁であるため蘇我氏との関係性を悩んでいた。 また、「冠位十二階」の制定による家柄が良く能力がない人の反発や仏教の取り入れによる物部氏と同じ考えを持った人の反発等にも頭を抱えていたと考えられる</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が抱えていた悩みについて、蘇我氏の復権についてだけでなく、冠位十二階の制定や仏教の取り入れによる反発についても具体的に述べています。これらは聖徳太子が目指す政治を行う上での大きな課題であり、生徒がそれらを理解し、詳しく説明していることから、最高得点の15点を付けました。</p>
<p>聖徳太子には2つの悩みがあると思う。 1つ目は、氏や姓だけで役人になっていた（能力がない）人たちの反発だ。氏や姓は朝廷内の地位の称号、つまり朝廷からそれなりに認められていることを意味する。そんな人たちを冠位十二階の制度で階級を下のほうにすると武力で対抗するだろう。さらに同じ思いを抱いた豪族と結託して国を二分するような戦いまで起きてしまう可能性も考えられる。戦いが起きたらもはや政治どころではなくなるため、悩みの1つだと思う。 2つ目は、日本の文化を重視していた人たちの反発だ。聖徳太子は607年に中国の進んだ文化を取り入れるために、遣隋使（小野妹子ら）を中国に派遣した。中国の進んだことを取り入れた結果として、人材の登用（科挙）は冠位十二階という形で、国のルール（律令）はそれに近い形で十七条の憲法をつくった。これは進んだ文化を取り入れたよい例といえるだろう。仏教が伝わって、これまで鉄にかわり、新しく進んだものとして仏像や経典は当時の支配層が豪族との結びつきを維持することに大きな役割を果たした。しかしその影響でそれまでは権威を示す象徴であった古墳にかわり、法隆寺などの寺院が重視された。これは日本の文化が崩れたといっても過言ではない。今までの日本の文化を重視してきた人々にとってはあまりよくない話だ。そこで批判されて武力につながってきたら収拾のつかないことになるので、悩みの1つだと思う。 このように2つのことが聖徳太子を悩ませていると考えた。</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が目指す政治を行う上で抱えている悩みを2つの観点から詳しく述べています。1つ目は、冠位十二階の制度による氏や姓だけで役人になっていた人たちの反発について、2つ目は、中国の文化を取り入れることによる日本の文化を重視していた人たちの反発についてです。それぞれの悩みについて具体的な事例を挙げて説明しており、蘇我氏の復権以外の要素についても触れています。そのため、評価基準に沿って15点と評価します。</p>
<p>聖徳太子の悩みは二つあると思う。 一つ目は、冠位十二階制度によって有能な人を入れることができるが、能力があまりない貴族たちの不満が溜まり、反発が起きてしまうのではないかと、というもの。 二つ目は、蘇我馬子をどうするかということ。蘇我馬子は自分に協力してくれたが、天皇の座を狙っているかもしれないととも大きな権力があるため、天皇中心の政治には邪魔。そのため蘇我馬子を暗殺したいが、もし暗殺したら同じ血筋の蘇我氏なので周りから多くの批判を受けることになってしまうというもの</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が抱えていた悩みについて、具体的な事例を挙げて詳しく説明しています。一つ目の悩みとして冠位十二階制度による有能な人材の登用と貴族たちの反発について、二つ目の悩みとして蘇我馬子との関係について述べています。これらは聖徳太子が目指す政治を行う上での重要な問題であり、蘇我氏の復権以外の要素についても触れているため、評価基準の最高点数である15点を付けました。</p>
<p>聖徳太子は家柄にとらわれず、能力のある役人を取り立てることを目標として冠位十二階という制度を定めた。しかし、家柄がまずい者が役人になり、豪族の子孫が役人になれなかったら、家柄が裕福な者たちが不満を抱き、恨みをかかってしまうのではないかと心配になっている。それと同時に、豪族の蘇我氏は、自分が優位に立つたのなら、自分の子孫さえも暗殺している。聖徳太子は蘇我氏と血が繋がっているが、過去のことを考えると、蘇我氏のいうことを聞かなければ、自分もいつ襲われるかわからない恐怖も感じていたと思う。</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が目指す政治における悩みを詳細に述べています。蘇我氏の復権への懸念だけでなく、冠位十二階制度による家柄にとらわれない人事に対する豪族からの反発や、自身の身の安全への不安など、複数の要素について具体的な事例を挙げて説明しています。これらの要素は、聖徳太子が目指す政治を行う上での悩みとして適切であり、評価基準に満足していると判断しました。</p>
<p>私の時代は母系社会であったから、欽明天皇に娘を二人嫁がせていただいた蘇我稲目の発言力は天皇よりも強力なものだったんだ。その息子の蘇我馬子も、姉妹が天皇の夫人となったから、強い権力を持っていた。さらには、蘇我氏と物部氏の丁未の乱で、馬子が勝利したことで、朝廷内で敵なしの権力者になっていたんだよ。でも、そこに私が「十七条の憲法」というものを立てた。「十七条の憲法」というのは、仏教や儒教の教えのもとに役人の心構えを定めたもので、その第三条に「詔をうけたまわりては必ず慎め（天皇の命令には必ず従いなさい）」というものを入れたんだ。私の時代の和朝廷では、豪族同士の権力争いが絶えなかったから、天皇に国の権力を集め、天皇を中心に国をまとめるべきだと思ったんだよ。でも、それを聞いた蘇我馬子はよく思わなかったみたいなんだ。今までみたいに政治を思い通りに動かせなくなるからね。それでも、蘇我氏のような大豪族の力を弱めることはできなかったけど、私が死んだあと、私としては息子の山背大兄王に即位してもらい、私の意志をついで天皇中心の国づくりを目指してほしいところだが、もし次の天皇が蘇我氏の親戚関係の人になってしまったら、天皇中心の世の中が作れないんじゃないかと心配しているんだ。</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が目指す政治を行う上で抱えている悩みについて、具体的な事例を挙げて詳細に述べています。蘇我氏の復権についてだけでなく、母系社会の影響、丁未の乱、十七条の憲法の制定、そしてその後の天皇中心の国づくりに向けた悩みまで、幅広く触れています。また、聖徳太子の視点からの語り口も工夫されており、生徒が深く理解していることが伺えます。これらの理由から、最高点の15点を付けました。</p>
<p>蘇我馬子が自分中心の世の中にするために裏切るかもしれないという心配があったと思う。また、冠位十二階や十七条の憲法を作ったとしても随(中国)から認められないかもしれないという心配もあったと思う。さらに、聖徳太子は過去に崇峻天皇を殺した蘇我の一族だからそんな天皇を大切にしない蘇我の一族の人間のする政治は倭(日本)にとって良いものなのかという批判の声にも苦労したと思う。</p>	<p>15 この回答は、聖徳太子が抱えていた悩みについて、蘇我氏の復権についてだけでなく、他の要素についても具体的な事例を挙げて詳しく述べています。蘇我馬子の裏切りの可能性、冠位十二階や十七条の憲法が隋から認められないかもしれないという懸念、そして蘇我一族の政治に対する批判の声という、聖徳太子が抱えていた悩みの多面性をうまく捉えています。そのため、評価基準に満足していると判断し、満点の15点を付けました。</p>

テスト以外の学習の見取りの可能性

質問、生徒の回答、AIによる点数付け及びコメントの例

問：聖徳太子が目指す政治を行う上でどんな悩みを抱えているのか、そのお悩みの内容を詳しく述べてください。

生徒の回答	点数付け&評価コメント
冠位十二階や十七条の憲法の制定により賄賂などの悪事を取り締まったりすることができるようになったり、天皇や仏様が中心の政治体制になってきたが、いままで自分の好きに政治をしていた蘇我氏が十七条の憲法の「君主(天皇)には必ず従う」という内容の文章で自分(蘇我氏)天皇家の方が立場が上ということが決定してしまいそのため好きなように政治を行っていくことができなくなってしまったためそれで蘇我氏の反感をかってしまうのではと言う心配	8 生徒の回答は、蘇我氏の復権への懸念について述べています。具体的には、聖徳太子が制定した十七条の憲法により、天皇家が政治の中心となり、蘇我氏が自由に政治を行うことが難しくなったという点を指摘しています。これにより、蘇我氏からの反感を招く可能性があるという悩みを抱えていたと解説しています。しかし、蘇我氏の復権以外の要素については触れられていないため、評価基準に基づき、8点としました。
今の朝廷は、蘇我氏が強い力を誇っているため、天皇と蘇我氏がほぼ対等な関係にあります。できれば私も、蘇我氏を抑えて天皇に権威を集中させたいのですが、なにしろ蘇我氏は私の先祖にあたるので、やりたくてもできません。こうなったら蘇我氏と手を結ぶべきなのか、でもそうすれば蘇我氏の権力はますます強くなってしまいます。私もかつて蘇我氏に反抗した人々のように殺されてしまうかもしれません。一体どうするべきでしょうか。タイムスリップして私の時代まで来て頂けませんか。	8 この回答は、聖徳太子が蘇我氏の復権について悩んでいるという点を詳しく述べています。そのため、評価基準の「蘇我氏の復権への懸念について述べている」に該当し、6-10点の範囲で評価します。しかし、他の要素や具体的な事例については触れられていないため、最高点は付けられません。そのため、この回答には8点を付けます。
最近、朝廷での蘇我氏の力が強まってきて天皇と対等であるかのように接していて困っています。私は天皇の力を強くしたいのに蘇我氏がいるとなかなかできません。蘇我氏を殺そうにも私の先祖は蘇我氏だからなかなかできません。	8 この回答は、聖徳太子が蘇我氏の復権に悩んでいるという点を明確に述べています。そのため、評価基準の「蘇我氏の復権への懸念について述べている」に該当し、6-10点の範囲で評価します。しかし、他の要素や具体的な事例については触れられていないため、最高点は付けられません。そのため、8点と評価します。
自分が蘇我氏に出であるのにも関わらず、蘇我氏の考えとは真逆の、『家柄にとらわれず、能力の高さで役人を決める』政策をとったため、蘇我氏の反感を買ったこと。	8 生徒の回答は、聖徳太子が蘇我氏の反感を買う可能性について述べています。これは、蘇我氏の復権への懸念についての記述であり、評価基準の6-10点の範囲に該当します。しかし、他の悩みや問題については触れられていないため、最高点は与えられません。
天皇中心で、豪族が従うような政治体制(律令)を目指したいのに、物部氏や蘇我氏など有力豪族たちの反発がある。「暗殺」するとしても、自分は蘇我氏の身分なわけだから、暗殺するわけにもいかないという葛藤がある	8 生徒の回答は、聖徳太子が目指す政治体制に対する豪族たちの反発、特に蘇我氏の反発について述べています。これは評価基準の「蘇我氏の復権への懸念について述べている」に該当します。しかし、蘇我氏の復権以外の要素についての事例が挙げられていないため、最高点数は得られません。また、物部氏についての言及がありますが、具体的な事例や詳細が不足しているため、完全な点数は与えられません。
蘇我氏に暗殺される事を恐れているのではないかと思った。なぜなら、今は政治を協力してできているが、蘇我氏に都合の悪い事や気に入らない事をしたら、暗殺されて、蘇我氏に都合の良い政治をしてくれる摂政に変えられてしまうと思ったからだと思う。	8 生徒の回答は、聖徳太子が蘇我氏の復権に対して懸念を抱いているという観点から述べられています。具体的には、蘇我氏に都合の悪い政策を進めると暗殺される可能性があるという悩みを指摘しています。しかし、蘇我氏の復権以外の要素については触れられていないため、評価基準に基づき、8点としました。
聖徳太子は、天皇中心の政治を、蘇我氏と一緒に目指していたが、蘇我氏との関係はすごく良かったというわけではなく、蘇我氏とは血縁関係もあったことから、聖徳太子は関係性にも慎重であった。一方蘇我氏は聖徳太子の死後、再び権力を独占し始めたことから、天皇中心の政治にあまり積極的ではなかったと考えられる。このようなことから、聖徳太子は共に政治を行なった蘇我氏との距離感や、関係性に悩んでいた。	8 この回答は、聖徳太子が蘇我氏との関係性に悩んでいたという点を述べています。蘇我氏との血縁関係や、聖徳太子の死後の蘇我氏の権力独占についても触れており、蘇我氏の復権への懸念について述べているため、6-10点の評価基準に該当します。しかし、蘇我氏の復権以外の要素についての記述がないため、最高点は得られません。
近頃は蘇我氏の横暴が目立ち、一族とは異なる意見を持つ者を無差別に暗殺したりと本来最終決定を行うはずの天皇をも凌ぐような権力を握ってしまっている。そこで私は古来から受け継がれてきた天皇中心の国づくりを取り戻そうと思っている。しかし、私は蘇我氏の血を引く者である。そのため、蘇我氏との関係はどのようにしても維持しなくてはならない。どのような政策を取れば蘇我氏との関係と天皇中心の国づくりを両立して成し遂げることができるだろうか。	8 生徒の回答は、聖徳太子が蘇我氏の横暴に悩んでいるという点を明確に述べています。また、蘇我氏との関係維持と天皇中心の国づくりの両立についても触れており、太子の悩みの一部を理解していることが伺えます。しかし、蘇我氏の復権以外の要素、例えば十七条の憲法の制定や仏教の普及など、聖徳太子が目指す政治における他の悩みについては触れられていません。そのため、評価基準に基づき、この回答は6-10点の範囲に該当し、8点と評価します。
自分と同じく政権を持っている蘇我氏を敵に回したくない。もし敵に回したら今の自分(聖徳太子)の立場を乗っ取られる危険性があるから。	8 生徒の回答は、聖徳太子が蘇我氏の復権に対して懸念を抱いているという点について述べています。これは評価基準の6-10点の範囲に該当します。しかし、他の要素や具体的な事例については触れられていません。そのため、より高い評価を得るためには、聖徳太子の政治を行う上で他の悩みや、それに関連する具体的な事例についても述べる必要があります。

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

AIによる点数付けに関する主なコメント

- ・ AIの結果を見ると、自分の採点力が可視化されるようで、ドキドキする。
- ・ AIは生徒一人ひとりのことは分からない。評価は一部できるかもしれないが、評価は難しそう。
- ・ AIと私の点数付けの違いが出る点をよく見ると、生徒に関する情報の差がでているように思える。私は生徒の取り組みの姿勢なども踏まえた評価をしていることに気づいた。一方AIは、採点基準のみに沿った点数付けをしているようだ。
- ・ AIによる点数を上からソートして見て違和感のあるところのみ修正すれば、これまで数時間かかっていた採点の時間が相当短くなりそう。これまでは正直採点が大変で、あまり記述式の問題を出せていなかった。AIを上手に活用することで、本来出題したかった記述式の問題を、もっと気軽に出せるようになるかもしれない。
- ・ (生徒のコメント) AIのコメントは納得感がある。

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

6. 先端技術の導入、開発、実証について

(B)授業中の生徒同士の対話を用いた解析

録音方法の検証	授業中の対話を記録する方法を模索。初めは一斉録音の後、自動テキスト化や集音装置を用いて文字起こしをする方法など、複数の方法を試した結果、マイク付きヘッドホンを首にかけ、マイクを口元にもっていき、グループごとに1つの録音機に集約させる方法をとした。
授業の実施	授業の中で、対話を伴うグループワークを行う。対話は1の方法で録音。
AIによる書き起こし	録音したデータを、AIを用いて書き起こし、ドラフトを作成。
人間による清書	AIを用いて書き起こしたデータを元に、人間が録音を聞き直し、修正を行う。
専門家による検討	書き起こされた対話の内容を元に、何らかの非認知能力を見取ることができそうか、専門家による検討を行う。
AIによる分析	AIによる点数付けを体験したことから得られた気づきなどをヒアリング

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

グループワークによる生徒の対話の書き起こしの例

- 生徒A 00:03 生徒Aです。
- 生徒B 00:15 ロシアは？侵略ですか？
- 生徒A 00:21 南下政策なんで、侵略ですね。
- 生徒A 00:36 イギリスは、貿易したいんで友好だと思います。アメリカは、やっぱり貿易をしようと開国させようとしてるので友好です。
- 生徒A 01:01 皆さんはどう思いますか。
- 生徒A 01:09 Bくん、君の教えてください。
- 生徒A 01:19 なんかありますか。
- 生徒B 01:22 ないです（同意）。
- 生徒A 01:24 Cさん、なんかありますか。
- 生徒C 01:27 同じです（同意）。
- 生徒A 01:30 なんかありますか。
- 生徒C 01:50 でもイギリスって生麦事件とかあるから、
- 生徒C 01:53 なんか
- 生徒C 01:57 ちょっとやめとく。
- 生徒A 02:05 生麦、生米、生卵。でも、生麦事件ってさ、やっちゃった（殺害してしまった）んでしょ？ 外国人。
- 生徒B 02:17 そうです。
- 生徒A 02:19 じゃあ、ブリティッシュ（イギリス）がどうやって感じるか？
- 生徒A 02:38 ロシアは南下政策だから侵略ってのはわかっちゃうんですけども、イギリスとアメリカが友好なのか？
- 生徒A 03:46 1ついいですか。
- 生徒B 03:48 なんですか。
- 生徒A 03:49 あの侵略か友好かの違いって、軍隊がいるかないかなんですよね。ロシアって実は1人とか1隻とかなんですよ。レザノフだったりラクスマンだったり。（つまり）侵略ではないのかと思っています。
- 生徒A 04:11 アメリカは逆にいっぱい黒船あるじゃないですか。（だから）侵略と思います。そしてイギリスはどうですか、皆さん、ちょっと見て下さい。どこですか？イギリス。
- 生徒D 04:25 （上園先生）
- 生徒A 04:26 Where is イギリス。
- 生徒D 04:28 （上園先生）うちの班ではこんな意見がありました～
- 生徒B 04:39 友好じゃないの？
- 生徒A 04:42 ああ…
- 生徒A 04:47 イギリスありますか？
- 生徒D 04:51 イギリスくない？

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

伸ばしたいカリスト (=非認知能力)

1. 協同・協働する

1-1. コミュニケーション力 1.2. 共感力 1-3. 表現力 1-4. 聴く力 1-5. 受容する力

2. 知識を活用する

2-1. 既習の知識や技能の活用 2-2. 創造力 2-3. 情報収集力

3. 対象について考える

3-1. 見通す力 3-2. 観察力 3-3. 論理的思考力 3-4. 批判的思考力 3-5. 読解力

4. 主体性

4-1. 主体的な関わり 4-2. 探究心 4-3. 発見する力 4-4. 自分事として考える力

5. 課題を見出す

5-1. 次の課題へつながる力 5-2. 課題を見いだす力

6. なりたい自分を描く

6-1. なりたい自分の姿を描く力 6-2. 生きがいを感じる

7. 自分自身を振り返る

7-1. 自分自身をふりかえって考える力

8. 感性

8-1. ものごとを受け止める感受性

AIによる評価支援ツールで分析

発話・音声データからのフィードバックの例

		A	B	C
1	協同・協働する	Aさんは他の参加者との対話を通じて、自分の意見を表現し、他者の意見を受け入れる力を見せています。特に、AIについての議論では、他者の意見を尊重しつつ、自分の視点を明確に伝えています。	なし	Cさんは他の参加者の意見を受け入れ、それに基づいて自分の予想を述べています。これはコミュニケーション力と受容する力を示しています。
2	知識を活用する	なし	Bさんは他の参加者の意見を基に自分の予想を立てています。これは既習の知識や技能の活用を示しています。	なし
3	対象について考える	AさんはAIの進化について深く考え、その影響について論理的に考察しています。特に、AIが人間の仕事を奪う可能性や、それが社会に与える影響についての洞察は、観察力と論理的思考力の高さを示しています。	Bさんは他の参加者の意見を基に自分の予想を立てています。これは見通す力と観察力を示しています。	Cさんは他の参加者の意見を基に自分の予想を立てています。これは見通す力と観察力を示しています。
4	主体性	Aさんは自分の意見をはっきりと述べ、AIの進化に対する自分の立場を明確にしています。これは主体的な関わりと自分事として考える力を示しています。	なし	なし
5	課題を見出す	なし	なし	なし
6	なりたい自分を描く	なし	なし	なし
7	自分自身を振り返る	なし	なし	なし
8	感性	AさんはAIの進化に対する感情や感想を率直に表現しています。これはものごとを受け止める感受性を示しています。	なし	なし
参加者へのフィードバック		Aさん、あなたのAIに対する深い洞察と主体的な意見表現は素晴らしいです。これからも自分の意見を恐れずに表現し、他者の意見を尊重する姿勢を持ち続けてください。また、AIの進化について深く考えることで、新たな視点や洞察を得ることができるようでしょう。これからも自分の感性を大切に、自分の意見を主体的に表現することで、より深い理解と学びを得られることでしょう。	Bさん、他の参加者の意見を基に自分の予想を立てる姿勢は素晴らしいです。これからも他者の意見を尊重し、それを自分の考えに取り入れることで、より深い理解と学びを得られることでしょう。また、自分自身の意見や感想をもっと積極的に表現することで、より深い理解と学びを得られることでしょう。	Cさん、他の参加者の意見を受け入れ、それに基づいて自分の予想を立てる姿勢は素晴らしいです。これからも他者の意見を尊重し、それを自分の考えに取り入れることで、より深い理解と学びを得られることでしょう。また、自分自身の意見や感想をもっと積極的に表現することで、より深い理解と学びを得られることでしょう。

東京学芸大学情報基盤課(竹早校)

6. 先端技術の導入、開発、実証について



入力（プロンプト）
評価の対象となるデータ
及び評価の観点

||
教員がプロンプトを意識せずに取り組めるシステムの活用

教員に変わるAIによる評価システムを作ることが目的ではなく、あくまでAIを教員を支援するツールとしてどのように活用することができるか、が本取り組みの目的である。

OpenAI社のGPT(API)

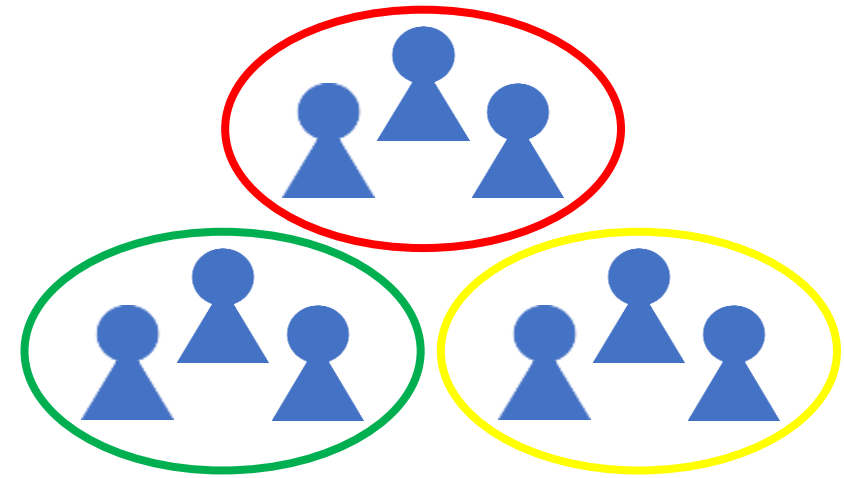
分析したい内容をExcel等で
準備し、AIに読み込ませるこ
とで、結果が得られる仕組み



出力（結果）
||
評価得点及び
算出根拠、等

共創空間化

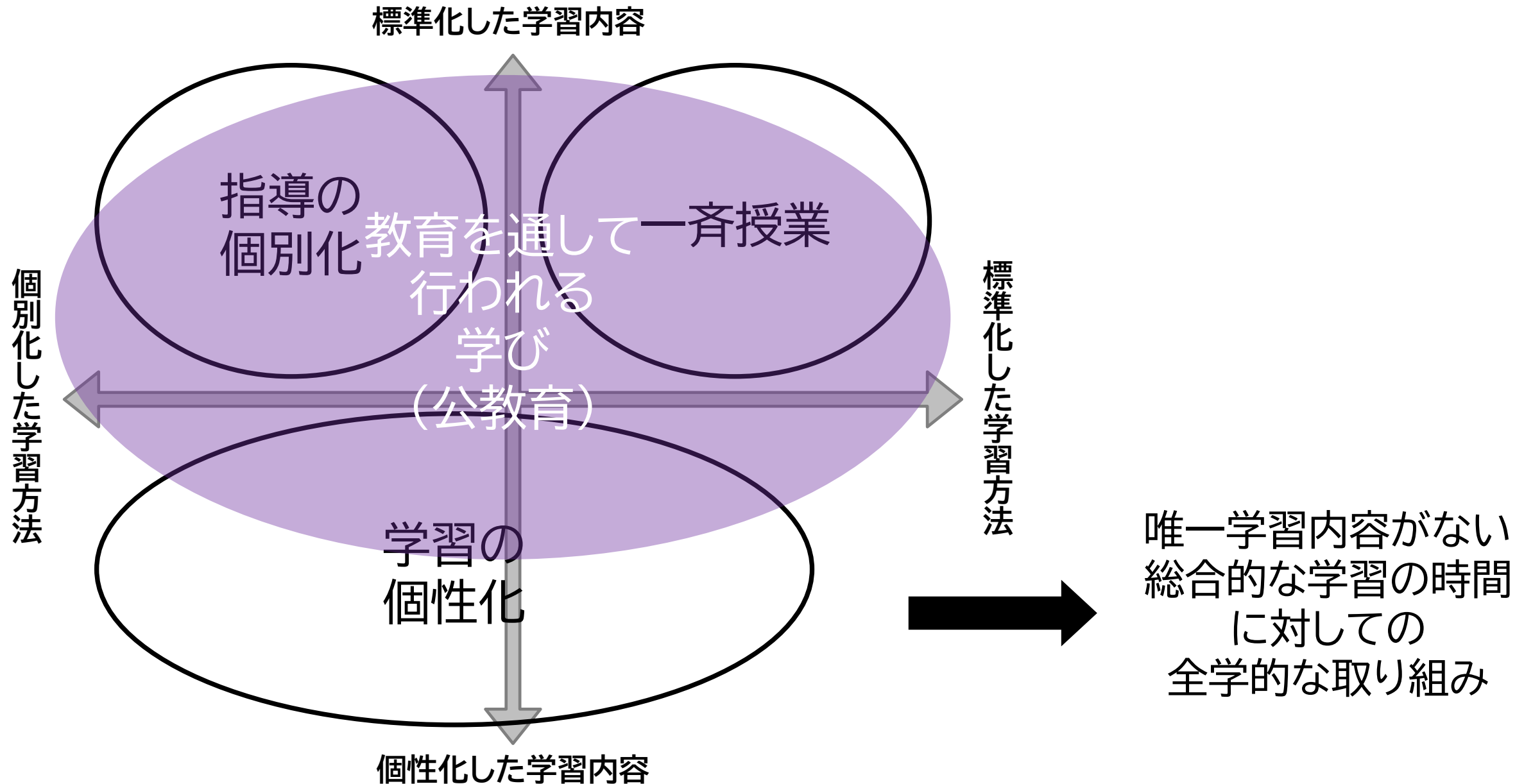
「主体的で協働的な学びの実現には」



教科教育を中心に
教員の授業で
子ども達が深めていく。

※学力をあげるのであれば、
教員の授業力を高めることが最も効果的

学びの個性化
主体的・対話的で深い学び
探究学習
指導と評価の一体化



何を

国が決めた学習内容を
※「どのように」すら。。。

誰に

学齢期の児童生徒に

どこで

国が設置基準を決めた学校で

時間

国が決めた時間内で

誰が

教員免許を取得した教員が

評価

国が決めた評価方法で



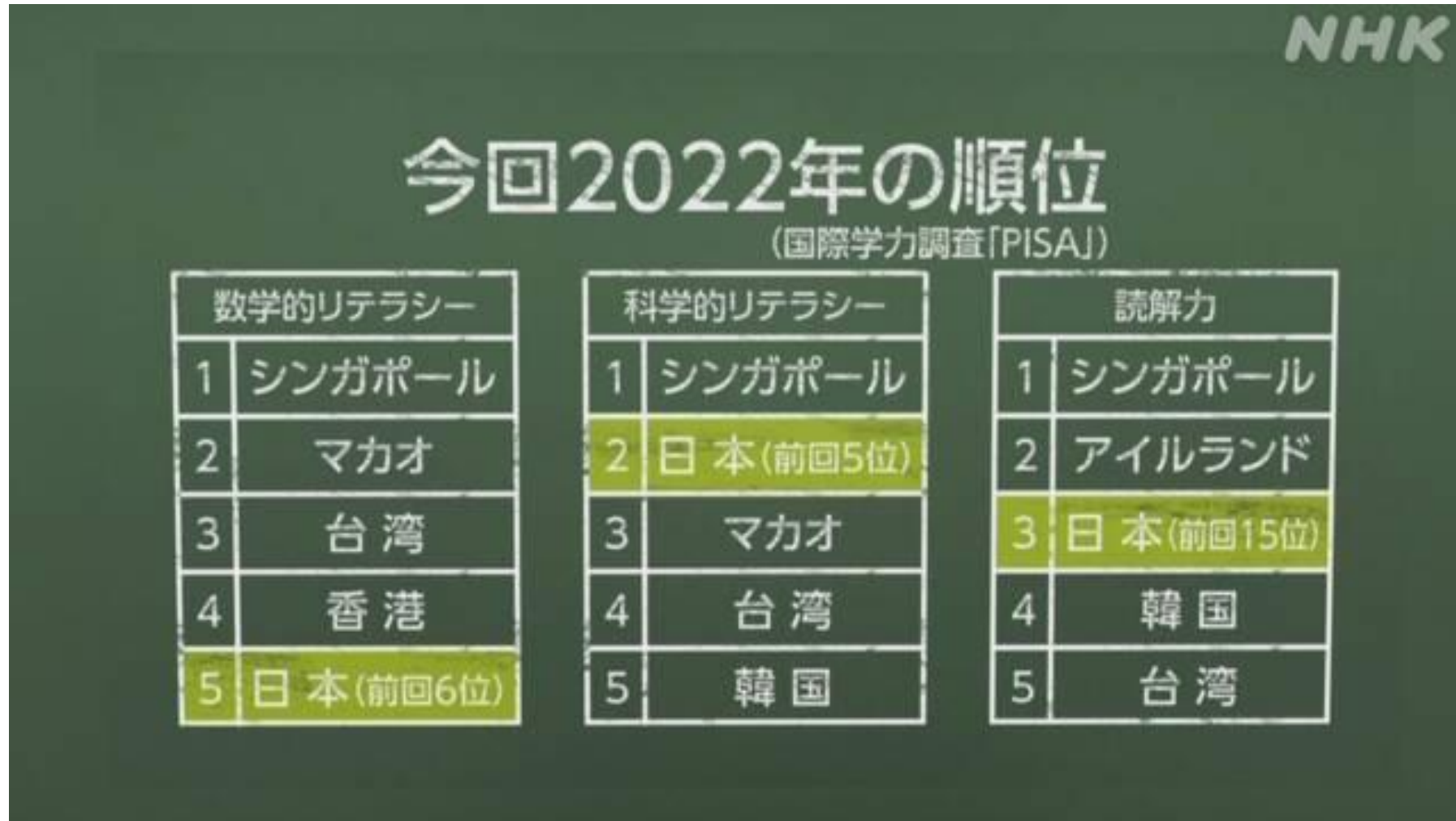
学習指導要領で決められた
学習内容を
学力として定着させる
ことは
学校の最重要ミッション



教科教育を中心に
教員の授業で
子ども達が深めていく。

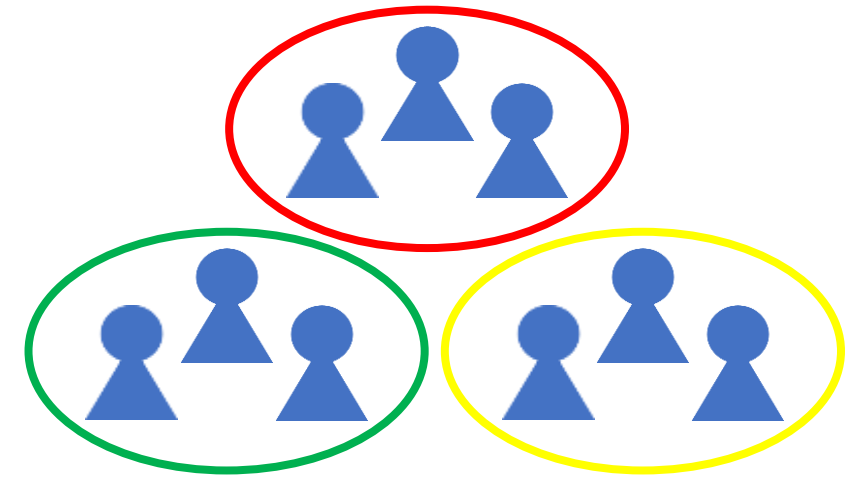
※学力をあげるのであれば、
教員の授業力を高めることが最も効果的

指導を個別化し
誰一人取り残さない
学びを実践するのは
学校にとってのMUST



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231205/k10014278531000.html>

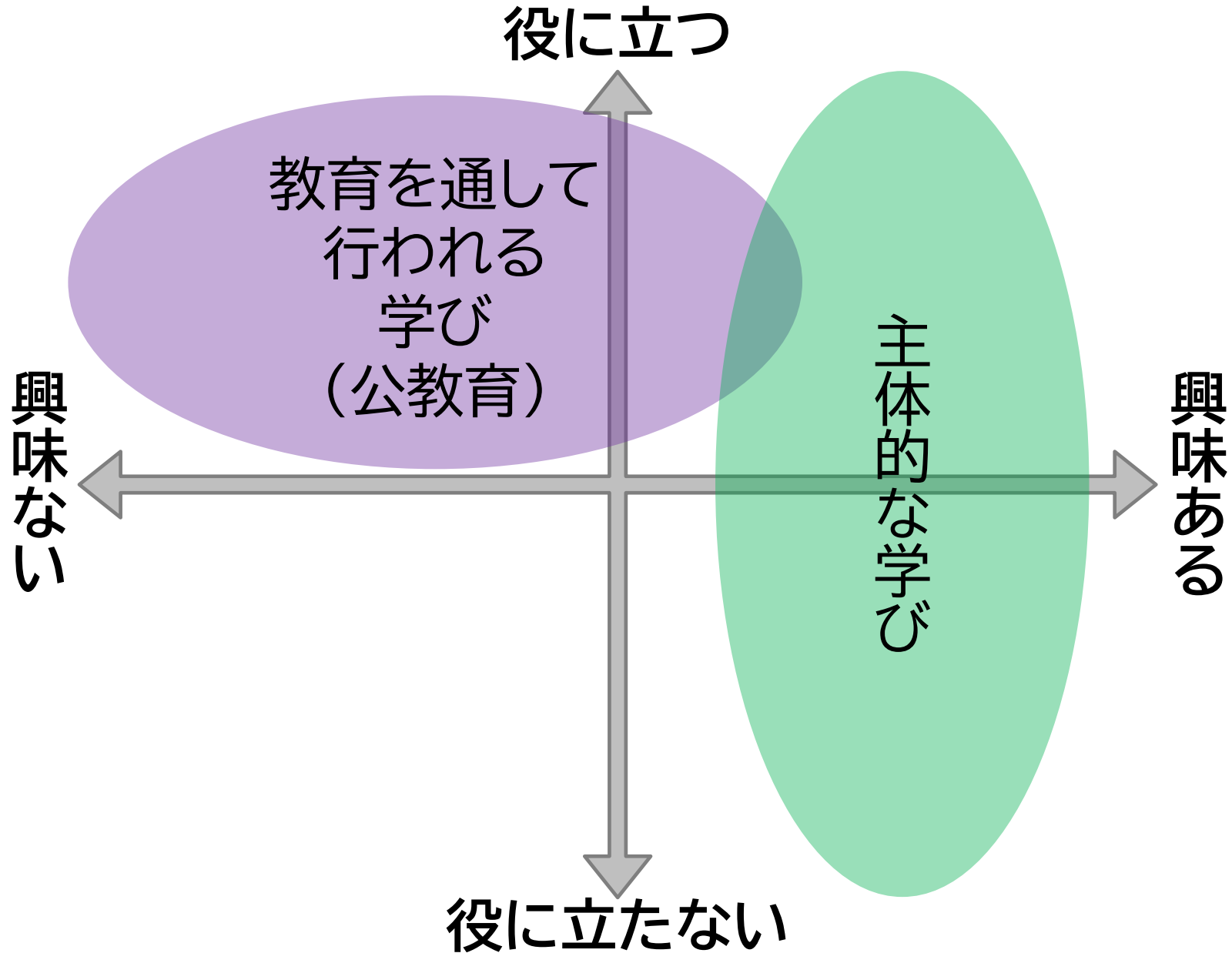
2023年12月5日 21時00分配信

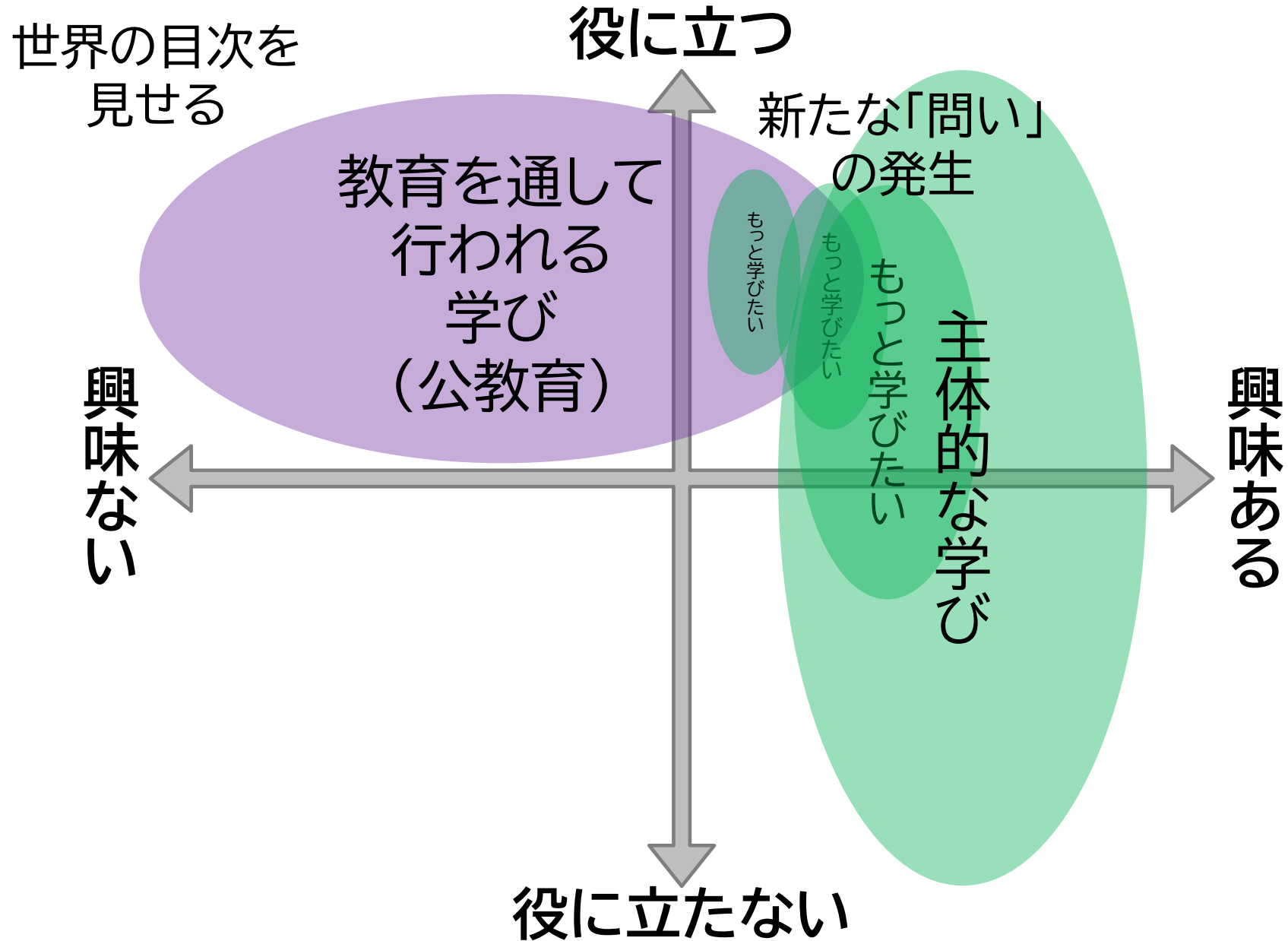


教科教育を中心に
教員の授業で
子ども達が深めていく。

※学力をあげるのであれば、
教員の授業力を高めることが最も効果的

学びの個性化
主体的・対話的で深い学び
探究学習
指導と評価の一体化





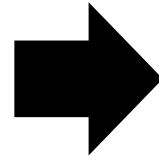
教科教育



主体的な学び
総合的な学習の時間

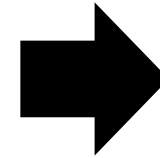
世界の目次を見て

もっと学びたい！

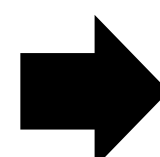


好奇心の発動

もっとやりたい！



探究的な
活動



STEAM
活動

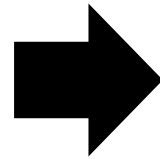
学習の個性化

主体的な学び
総合的な学習の時間

探究的な
活動

STEAM
活動

学習の個性化



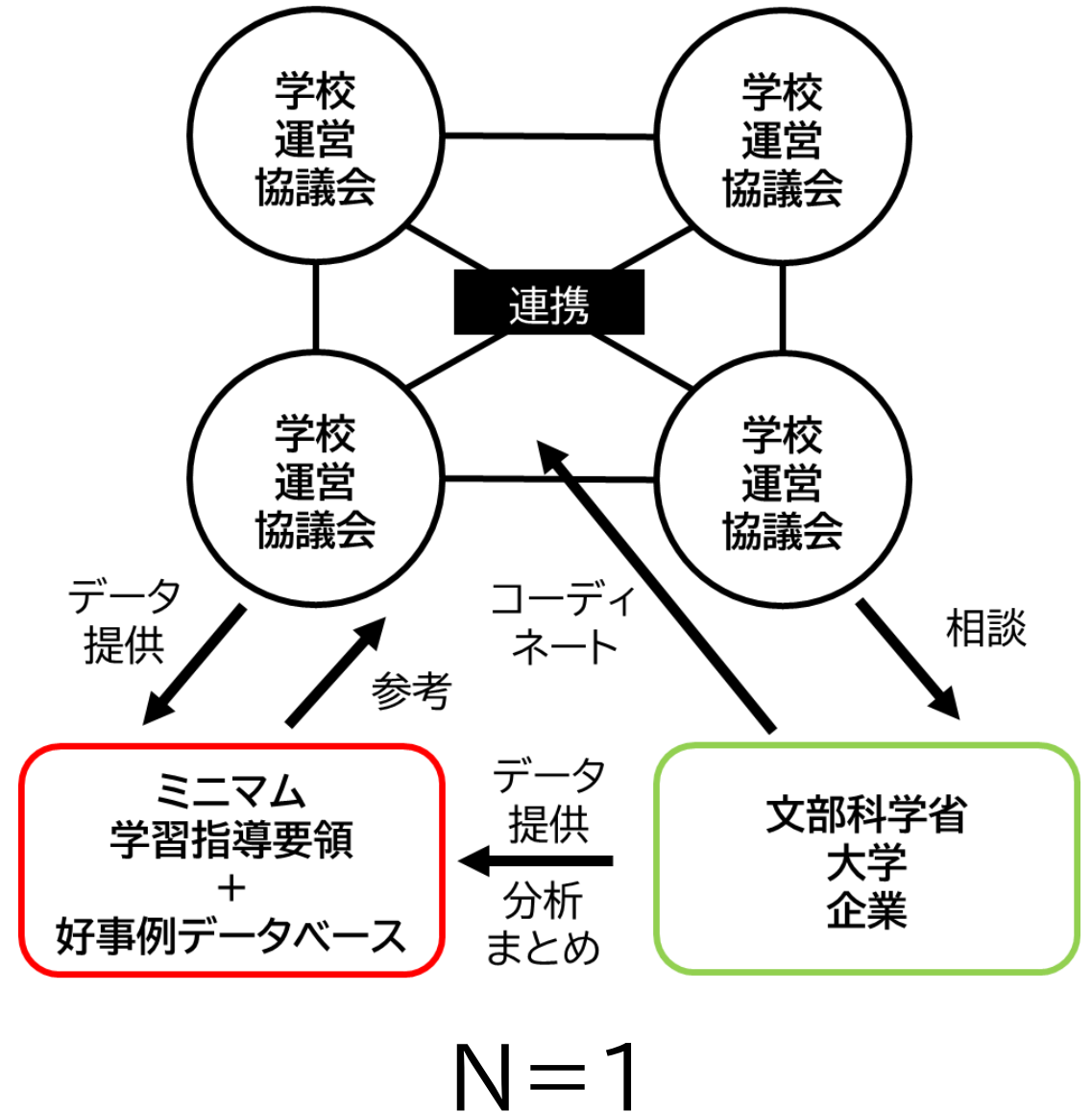
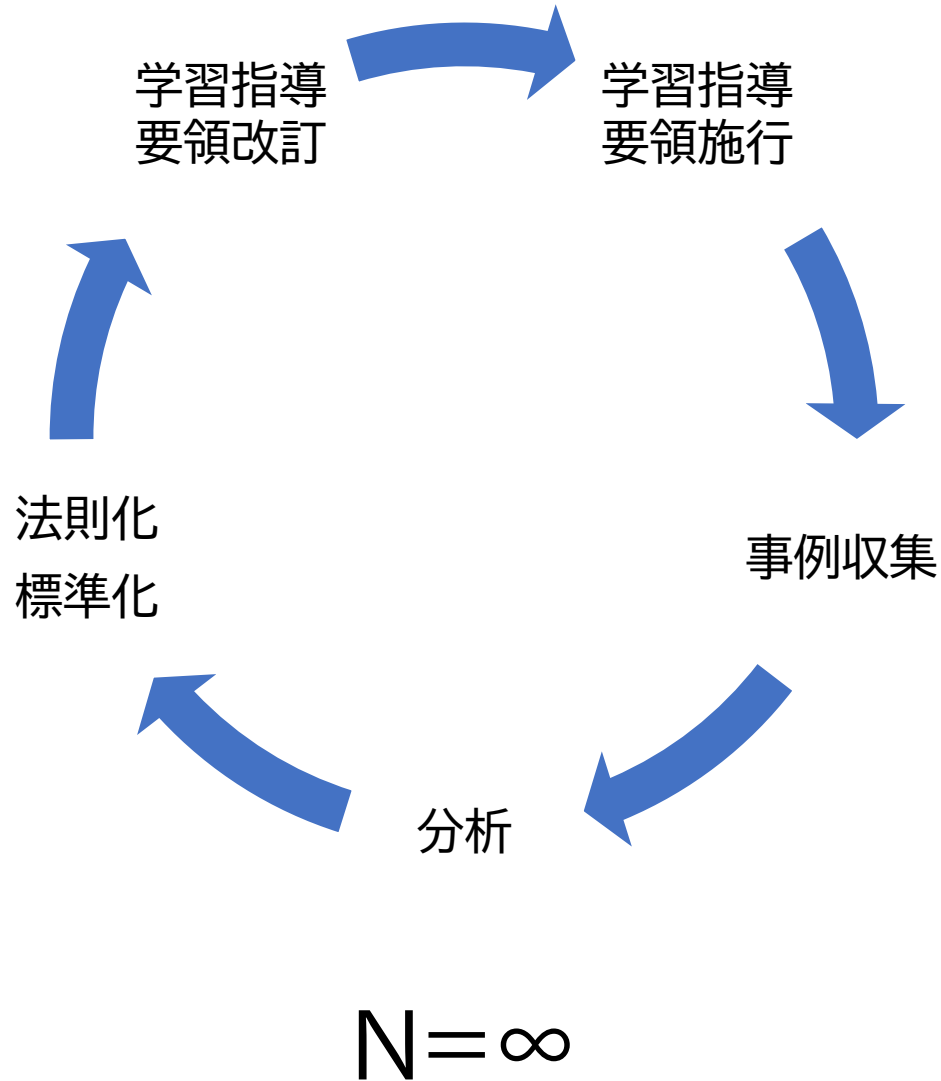
放課後の学び
部活動



子どもの学びを最大限優先しながら
地域の大人も一緒に学ぶ
「チーム 学び」
「大人も部活動！」

学校を完成させるのやめませんか？

法則化、標準化するのやめませんか？



新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

Schools for the Future 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体で学びの場として創造する子供たちにとって「明日また行きたい学校」となるために、そこに集う人々にとっても「生き生きと輝く学校」となるために

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



製作・編集のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



子供たちの居場所となる小空間・ベンチ等の配置や、木材を活用して温かみと潤いのあるリビング空間としていく姿

生活



断熱性能を高めて空調設備が設置された体育館を、大人数での多様な活動も展開できる大空間として活用していく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

共創



他の公共施設（図書館等）との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間としていく姿

新しい学校の建築、長寿命化が求められている



文部科学省
学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム
CO-SHA Platform

TOP 私たちについて 相談窓口 学校づくりのアイデア集

みんなで作る、 明日の学校

学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム

コーシャプラットフォーム

CO-SHA Platform 誕生



無料相談
受付中



CONTACT

学校施設改修の無料相談窓口

TOP > 相談窓口

学校施設の整備や活用に関する専門家「CO-SHAアドバイザー」が相談にのります。
※上記の教育施設や学校に関する相談を受ける「CO-SHAアドバイザー」は専門的・技術的な相談ができます。相談にかかる費用は発生しません。相談が具体的な内容まで、どんなことでも相談してください。

ぜひこんな相談、お待ちしております。

- 計画・設計について**
 - 最新の最新の学習空間の整備や更新したいと考えているが、具体で検討中の事業計画についてアドバイスがほしい。
 - 自身の用いるある数の学校施設を刷新や刷新する際のノウハウがほしい。
 - バリアフリー化のため、適切な動線設計による多様なニーズの確保がほしい。
- 整備・施工について**
 - 学校の計画・実施の進捗状況の進捗を把握したい。
 - 施設改修によるコスト削減、工期短縮に関する具体的なアドバイスがほしい。
- 施設の活用・運用について**
 - 学校の改修の計画による施設設計プロセスの検証がほしい。フィードバックによる今後の施設改修を助けてほしい。
 - 施設改修による効果（学習環境）の活用がほしい。

相談の流れ

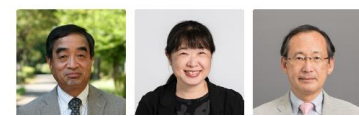


※無料相談の開催は、令和6年2月28日（木）まで一時的に停止させていただきます。
緊急ご相談の受付のみ承っております。
いただいたご相談につきましては24時間以内にお返事させていただきます。

- アドバイザーの無料相談や研修は限定的に開催しております。
- 個別への相談は予約制となります。
- 本ウェブサイトには掲載できない相談やお問い合わせの受付はございません。
- 個別への相談は予約制となります。
- 本ウェブサイトには掲載できない相談やお問い合わせの受付はございません。

アドバイザー一覧

相談にお答えする「CO-SHAアドバイザー」のみさんです。今後も少しずつ仲間を増やしていきます。



IDEA

新たな学校づくりのアイデア集

TOP > アイデア集

新しい時代の学びを実現する学校施設づくりのための効果的な取組事例やアイデアを紹介します（随時更新予定）

タグで絞り込む

全てを表示 実践的な学習空間(12) 小学校(10) 対話型設計(11) 実証(10) 地域と連携(10) 高専化(10)

中学校(10) 個別化(10) 複合施設(10) 自然エネルギー(10) 変革(10) 施設改修(10)

プロポーザル方式(10) 授業(10) 防災(10) インクルーシブな教育環境(10) 特別支援学校(10) ZED(10)

エコスクール(10) ICT活用(10) 施設(10) 高専化施設(10) 木造利用(10) 複合(10) 施設改修(10)

バリアフリー化(10) 変革(10) 高専化(10)



県立特別支援学校と市立小学校の併設による円滑な交流及び共同学習の場の創出
神奈川県立豊登特別支援学校・豊登市立東広小学校（神奈川県豊登市）

脱炭素社会と環境教育に貢献する学校施設の「ZEB」化
徳島中学校（徳島県徳島市）

学校隣接地に教育センターを設置し、地域と連携した教育環境を目指す
田沢町教育センター（大分県豊後高田市）

インクルーシブな教育環境
個別化の活用 特別支援学校 小学校

ZED 実証 自然エネルギー
エコスクール 対話型設計 中学校

実践的な学習空間 地域と連携
個別化設計



ICT活用を実践、検証する「未来の教室」で、新たな時代の学びを実現する
筑波大学附属小学校（東京都文京区）

公民館と小学校の複合化で、教育環境の向上と地域コミュニティとの接点をつくる
福井市緑小学校（福井県福井市）

対話型設計で、学校機能の充実と地域の居場所となる教育環境を実現
陸前高田市立高専東中学校（岩手県陸前高田市）

実践的な学習空間 ICT活用 実証
部分改修 小学校

高専化 施設 施設と連携
個別化の活用 個別化設計
実践的な学習空間 防災 複合施設
複合施設 小学校

実践的な学習空間 地域と連携
プロポーザル方式 中学校



家具の工夫による学習空間の創出
空野総合校（上野市）

余剰教室を有効活用した教室の再配
空野総合校（上野市）

子ども達も含め、
みんなで学校について対話



新しい学校を完成させる



新しい子どもと先生が
入ってくる



去年つくった学校に慣れる

何か面白い事やりたくて
イベントをする



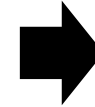
祭りになる



祭りが伝統化して
変えちゃいけないことになる



祭りが
伝統として保護される



曲ができる



レコーディングする



メンバーを変えて
ライブで演奏する



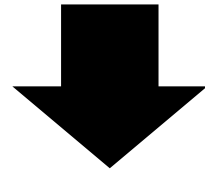
全然違う曲になる

毎年更新されていくN=1

学校を完成させるのやめませんか？

法則化、標準化するのやめませんか？

$N = \infty$



個別最適化

「誰もが同じではないという当たり前」

$N = 1$

「たった一つの理想の学校」はないし、「学校創造にゴール」はない

社会システムには完成形はなく
常にその時、その場、その環境に応じて変化させていくものである
社会システムの一つである学校も変化させ その結果を見ながら
常に創り続けていくものだと考える

今この瞬間にここでうまくいったソリューションが
明日ここでうまくいくとは限らないし
あそこでうまくいくとも限らない

昨日どこかにいた誰かが創ったソリューションでなく
今ここにいる自分たちでソリューションを創る

「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」の基本的な仕組みは
「みんなで」と「好きに、挑む」

「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」の成果は
PROJECT自体であり、それを継続させる仕組み

是非、仲間を集め、自分の好きに、挑んで、学校を創り続けてください

「完成しないみんなで創り続ける学校を目指して」100人輪読会



TALK RELAY

100人輪読会

完成しない みんなで創り続ける学校を目指して



(提言書)



(100人輪読会サイト)



第1期未来の学校みんなで創ろう。PROJECTを受けて、事務局で提言書をつくりました。

提言書をお読みいただいた方と議論をしていく、100人輪読会を始めました！

企画はいたってシンプルです。

「未来の学校みんなで創ろう。」としている

日本中の、世界中のたくさんの授業や学校取り組みを

取材させて頂き、**edumotto**

(東京学芸大学公式記事配信サイト)

で、記事として配信、

「未来の学校みんなで創ろう。」の仲間として、

右のロゴデータとステッカーをプレゼントしていきます！



未来の学校
みんなで創ろう。
Ongoing!

「Ongoing! CONFERENCE」開催趣旨

「未来の学校みんなで創ろう。」としている、日本・世界中のOngoingな取り組みについて、その関係者が一同に集い、語り、さらなる一步を踏み出すためのイベントです。

▶ナレッジシェア

それぞれが挑戦している中で得た知見を、オープンにシェアします

▶セレンディピティ

次なる思考・行動を生み出すための偶発的な出会いを大切にします

▶ネットワーキング

挑戦者同士の繋がりを創出し、さらなるきっかけを生み出します






開催概要（案）

- ■日時
- 第1回 2024年7月上旬～8月中旬
- 3か月に1回程度

- ■会場案
- いろんな共創空間

- ■コンテンツ
- ・開会宣言
- ・On going! Presentation #1 (15min+5min)
- ・On going! Presentation #2 (15min+5min)
- ・On going! Presentation #3 (15min+5min)
- ...
- ・閉会宣言
- ・AFTER PARTY

- ■会費
- 頂く予定。（投銭？）



キラキラな未来をつくる
木を使った教育